

教科名	家庭科		科目分類	必修
科目名	家庭基礎		単位数	2 単位
学年	2 学年	担当者	井上 なな	

教科書 使用副教材	家庭基礎 自立・共生・創造(東京書籍) 生活学NAVI(実教出版)
--------------	--------------------------------------

学期	月	予定時数	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法
一学期	4	中間 12	オリエンテーション 第1章 生涯を見通す 第2章 自分らしい人生をつくる	各自のライフステージを考えさせ、課題問解決の糸口を探させる。 家族の変遷を理解させ多様化する事象について考えさせる。 家族にかかわる法律を学習させる。	意欲・技術・工夫・知識理解 出席状況 提出物 授業態度を総合して評価する。
	5				
	6	期末 12	第7章衣生活をつくる	人と衣服のかかわり、衣服素材の種類と特徴、衣生活の管理を学習させる。 被服製作(ショートパンツ)を制作する。	意欲・技術・工夫・知識理解 出席状況 提出物 授業態度 考查成績を総合して評価する。
	7				
二学期	9	中間 14	第6章 食生活をつくる	食文化・栄養・食生活と環境について総合的に学習する。 調理実習を行い、調理技術を会得し、自立した将来の食生活をつくる能力を育てる。	意欲・技術・工夫・知識理解 出席状況 提出物 授業態度を総合して評価する。
	10				
	11	期末 12	第6章 食生活をつくる 第8章 住生活をつくる 第9章 経済生活を営む	食生活と環境、食品ロスについて学習する。 住居の機能・賃貸住宅の借り方・平面図の読み方などを学習する。アプリを用いて住宅設計を行う。 経済的な自立を目指して、家計や消費者問題・契約など学習する。	意欲・技術・工夫・知識理解 出席状況 提出物 授業態度 考查成績を総合して評価する。
	12				
三学期	1	学年末 20	第3章 子どもと共に育つ 第4章 超高齢社会を生きる 第5章 共に生き、共に支える 第10章持続可能な生活を営む 第11章 これからの生活を創造する	乳幼児の心身の発達を学習し、保育に必要な基礎的な知識を得る。 高齢者の心身の特徴を学習し、介護保険や認知症について理解を進める。持続可能な社会を目指してライフスタイルを構築する。人生の目標を達成し自分らしい生活が実現できるように生活設計を行う。	意欲・技術・工夫・知識理解 出席状況 提出物 授業態度 考查成績を総合して評価する。
	2				
	3				

教科名	家庭科		科目分類	自由選択
科目名	子どもの発達と保育		単位数	2 単位
学年	3 学年	担当者	松崎光一	

教科書 使用副教材	子どもの発達と保育
--------------	-----------

学期	月	予定時数	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法
一学期	4	中間 12	オリエンテーション 第1章 子どもの発達の特性 1. 生涯発達における乳幼児期の重要性 2. 発達と環境 3. 発達観・児童観とは	・乳幼児期の発達課題を考える。 ・愛着と安全の基地について知る。 ・発育・発達・成長の関係を理解する。 ・胎児から新生児、乳幼児への成長過程を	学年末考査・絵本製作の作品点・プリントなどの課題点・授業などの参加態度により評価する。
	5				
	6	期末 12	第3章 子どもの生活 4. 子どもの遊びと生活 ・年齢別の遊びと玩具 ・絵本の製作実習 ～保育実習に向けて ・保育実習オリエンテーション	・子どもの生活と遊びを知り、児童文化財について理解を深める。 ・保育実習で使用する、年齢にあわせた安全な絵本製作実習をおこなう。 ・夏季休業中の保育実習について説明を受ける。	学年末考査・絵本製作の作品点・プリントなどの課題点・授業などの参加態度により評価する。
	7				
二学期	9	中間 14	保育実習反省会 第2章 子どもの発達過程 1. 身体発育と運動機能の発達 2. 乳幼児期のからだの発育 3. 乳幼児期の発達の特徴 4. 人間関係の発達 5. 心の発達	・夏季休業中の保育実習の反省会を行う。 ・乳幼児期の発達の特徴を知り素質と環境を考える。 ・感覚機能・運動機能・情緒・言葉・知的能力 ・自立と対人関係の広がりについて考える ・人格形成に及ばず環境の重要性について ・育つ・育てる・育ちあう保育に	学年末考査・保育実習の出席状況及び日誌などの課題点・授業などの参加態度により評価する。
	10				
	11	期末 12	第3章 子どもの生活 1. 子どもの健康と生活 2. 子どもの食事 3. 子どもの衣服 5. 子どもの健康管理	・子どもの健康と生活を理解する。 ・乳幼児期の栄養と食生活について知る。 ・子どもの衣服と衣生活の特徴を知る。 ・基本的な生活習慣について理解する。 ・子どもの病気と予防・看護について知る。 ・子どもの事故と応急処置につ	学年末考査・保育実習の出席状況及び日誌などの課題点・授業などの参加態度により評価する。
	12				
三学期	1	学年末 20	第4章 子どもの保育 1. 保育の意義と目標 2. 保育の方法 3. 保育の環境	・児童憲章 ・児童の権利に関する条約について学ぶ。 ・児童福祉法について学ぶ。 ・必要とされる保育サポートについて知る。	年間の取り組みを総合して評価する。
	2				
	3		第5章 子どもの福祉と子育て支援 1. 子どもの福祉 2. 子育て支援		